

分類	発言者	意見・質問	会議時における回答		対応方針
			回答者		
物流について	東京都トラック協会	<ul style="list-style-type: none"> ・人流の実態について多数の分析がされている一方で、物流の実態について分析が少ないため、物流に関して意見を出すことが難しい。 ・中央区内では荷捌きに課題がある。特に酒類は重く、長距離の横持ち配送が難しいため、配送先の近くに駐車する必要がある。その結果、配送業者が多額の駐車違反金を支払っていることを聞いている。 ・まずは荷捌きの問題を把握するためのデータを分析し、安心して物資の配送ができるよう施策を検討してほしい。 ・人口の増加や人流の活発化は物流の増加を伴うはずだが、今回の改訂素案には、課題として物流に関する事項が明記されていない。 	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・人流については平成30年にパーソントリップ調査が実施されているため実態を把握しやすいが、物流については公開されているデータの年次が古く、実態に即したデータの分析をすることが難しい。今後、入手できるデータがあればその分析について検討したい。 ・物流の課題について記載方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・p34「路上駐車実態調査（東京都道路整備保全公社）」や、p35「自治体別駐車概要（警視庁交通部）」を基に路上駐車の実態を分析し、素案に反映する。 ・p53に【課題6】として「荷捌き駐車を中心とした物流交通への対応」という項目を追加する。 ・課題・目標・施策の対応関係を再整理する。
	大森部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・物流や路上駐車に関する課題は、中央区の課題として明記した方がいいと思う。物流や路上駐車は、課題には記載されていない一方で、具体的な施策の中で扱われている。目標を達成するための手段として、物流や路上駐車への対応を含めた施策が位置付けられているのだと捉えた。課題・目標・施策の関係を今後整理する必要がある。 	－	－	
	警視庁交通部交通規制課	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区では路上駐車が問題となっている。都市部では、駐車場の附置義務によって乗用車駐車場が過剰に整備されてきた一方で、荷捌き駐車場が不足している。警視庁で区別の違法駐車データを公開しているため、荷捌きに関する課題の把握に活用してほしい。 	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介いただいた警視庁のデータの活用について検討する。 	
自転車通行空間について	警視庁交通部交通規制課	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車走行空間の整備状況について、今回の改訂素案における表現では、整備がほとんど完了しているように見える。車道混在では走行空間が整っているとは言えないので、表現を工夫してほしい。 	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・表現について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・p41本文中に「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に基づく自転車通行空間整備の考え方について説明を加える。 ・p42の図「自転車歩道通行可路線、自転車通行帯等」において、自転車通行空間の種別ごとの整備状況を分かりやすく整理する。 ・p52の【課題3】「自転車利用環境の充実」に、自転車・歩行者・自動車の通行空間の分離について記載する。
交通需要への対応について	東京都交通運輸産業労働組合協議会 幹事バス部会	<ul style="list-style-type: none"> ・増加する交通需要への対応のため、より一層の輸送力の確保が課題であると書かれている。この課題を解決するためには、既存の路線バス会社が総力を挙げることになると思うが、中央区はどのように関わるのか。 	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区内を走る路線バスの運行本数が多く、バス事業者には区に配慮していただいていると認識している。既存の路線バスの本数を増やした場合、特にピーク時にはバスが数珠つなぎの状態になることが想定され、交通需要への対応を道路上の輸送にのみ頼ることに限界がある。現状はバス事業者に頼らざるを得ない状況であるが、将来的には大量輸送機関である地下鉄の整備が必要であると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きバス事業者各社と連携して当面の輸送力確保についてご協力いただくとともに、抜本的な対策として地下鉄新線の導入の検討を進める。
公共交通不便地域について	東京都交通運輸産業労働組合協議会 幹事バス部会	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通不便地域への対応について、どのように考えているか。 	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸バスの運行について今年度に調査を実施するため、来年の地域公共交通会議の中で、本調査結果の報告を含め議題にしたいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度に予定している江戸バスの運行ルート検討の中で、まちびらきが予定されている晴海の交通不便地域への対応などを中心に議題としていく。
乗務員の確保について	東京都交通運輸産業労働組合協議会 幹事バス部会	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスや路線バスは採算をとることに加えて乗務員の確保が難しく、今後より厳しい状況になると考えている。その2点についてうまく調整してほしい。 	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・その点について認識している。要望として承った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも路線の拡充など個別の要望に当たっては、バス事業者各社と十分調整していく。
区の特性、社会情勢、動向について	苦瀬会長	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区や世の中の状況を俯瞰的に見て、視点を加えなくていいのか。現行計画の策定時と現在とでは新型コロナウイルスの感染拡大やネット通販の普及等、状況が大きく変わっている。また、首都高日本橋区間の地下化や、中央区と成田空港・羽田空港のアクセス向上、築地市場跡地の計画、地下鉄新線の構想のような新しい動きが出てきている。このような内容を課題に反映しなくていいのか。また、中央区は隅田川に面していることで景観上有利であるが、そのような特性が計画に反映されていない。 	－	－	<ul style="list-style-type: none"> ・課題や目標に、中央区固有の特性や状況等を反映するとともに、将来イメージの中でこれらを踏まえた方向性を整理する。また、新技術などの動向を今後の展望に記載する。
その他	月島地域町会連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区地域公共交通会議設置要綱の、会議設置の目的が旅客を中心に書かれているが、物流と大規模開発とその影響などを付け加えるといいのではないか。 	苦瀬会長	<ul style="list-style-type: none"> ・意見として承った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要綱の目的には「地域の実情に即した輸送サービスの実現に向けた協議」が位置付けられ、また協議事項として「中央区の交通施策を総合的に推進するための計画…戦略」が規定されているため、物流や交通需要等に関する事項についてもこれに含まれるものと考えている。